

幼児の仕舞について

久門 嘉祐

岸邊福雄先生が日本の土に芽生えた日本の子供を育てるには是非共日本の土、日本の水、日本の空氣が必要であるといふ見地から此の仕舞を幼稚園の保育の一課として取り込まれました、即ち私も先生の意を受けて多年研究の結果これを子女の仕舞化し、私の幼稚園で實施致して居りますること、茲に十九年其の一日も休んだことのないといふ程大切な科目になつて居ります。それが決して理想空想ではなく、實に日日其の効果に引きずられどうしても仕舞は毎日しなければならぬやうになつて續行して居る次第でございます。

さて仕舞の保育的價値といふやうな理論的なことは漸く措き、茲には只目前に見えて居る効果について其の實例を二三お話し申上げて見たいと思

ふのびんごうします。

一、仕舞は幼兒には勿論家庭に非常に喜ばれます、仕舞は餘程子供に嬉しいと見えて如何な癖の子供でも仕舞にならとつつきます、お並びもお唱歌も遊戯も皆と一しよ、お辨當をたべることの出来ぬやうな子供でも、附添の手を握つてゐて少しも附添から離れない子供でも、仕舞は不思議にもちやんとします、如何なる「ハニカミ屋」でも「引つ込思案屋」でも「活動の貧弱な子供」でも「表情に乏しい子供」でも「ムツカリ屋」でも仕舞には無雜作にとつつきます。そして一旦仕舞にとつついたらもう半途で幼稚園を離れるといふことはありません。十九年の間に家庭的事情止むを得ぬ場合の外女兒の半途退園といふのは一人もありません。このことだけで、仕舞の偉大さを思はずにはゐられないのでございます。こんな實例もあります或家庭で今年五つのお嬢

さんを幼稚園へ入れたくてお母さんはやさもきされるのでありますが、どうしたものかお嬢さんがイヤといふて聞かないのでほとく困つてゐらつしやいました。或日お嬢さんをつれてお使に出られた序に幼稚園に立ち寄られました。

成る程お嬢さんはお膝に顔を押しあて確かりとしがみついて、イヤくカイルカイルの連發でございました。丁度其の時お仕舞が始まつてゐました。お母さんが「まさ子さんお仕舞といふものよ面白いね皆さんち上手ね……まさ子さんも幼稚園へ上がれば教へて下さるんです」と機嫌をとるやうに言はれました、すると今までお顔をとお膝に押しあててゐた「まさ子さん、頭をあげてお仕舞を見るやうになりました。お母さんが面白いでせうお仕舞好きでせう「まさ子さん」さんも皆さんと一しようにお仕舞を教へて頂くかいとお母さんが一膝のり出しました、「まさ子」

さんさつきと變つてニコニコうなづいてゐますそこで園長先生すかさず、まさ子さんお仕舞好きでせうさあくしませうよと新しいお扇子を出しました。「まさ子」さんお扇子を取りました。そしてお母さんから離れて園長先生の手に來ました、すぐに手をとつて皆と一しよに「熊野立ち出て」をさしてあげました、「まさ子」さん大喜でお仕舞が濟んでから又お母さんのお膝へ行くかと思ふとそうでなく一しよに舞ふたお友達と手をとつて面白く遊びました。お母さんには來たときと打つて變つて二人でニコニコ歸りました。けれども、そんな問題であつた「まさ子」さんが果してあした來るかどうかは疑問であり若し來なかつたならば折角のお母さんの心盡しも水の泡となる譯である、どうしてお母さんの望を達せしめてあげるか、又來たにして

も、どうして其の幼稚園のイヤを取り拭ふてあ

げるか非常に興味を持ち又可なり準備をして一

晩を明かしました。來ました早く女中に送られ

てお扇子を奇麗な袋に入れ肩にかけてニコニコ

來ました、これで先づ一息つきました、先づ一問

題解決、さあこうなるとどうして此の「まさ子」

さんに對する保育のスタートを切るかといふこ

とが私にとつて非常に興味ある問題でありまし

た。所が案ずるより産むが易い「まさ子」さん

はもう昨日のお友達と手をとつて遊び出しまし

た、私は全くあつげにとられたのでありました。

それからずんずんのびて二年の間只ニコニコ保

育を受けて立派に卒業されました。いつでもお

母さんが「まさ子」は全くお仕舞から幼稚園へ

入れていたゞいて立派な保育を受けることが出

來たのでござい

一、仕舞と一家團樂

お仕舞は伴奏もいらす相手もいらす和服でも洋

服でもよし、至つて簡單に出来るのであります

から思ひついたときいつでも出来ます。それに

どたんばたん飛んだり跳ねたりするのでなく優

美な高尚な舞でありますお座敷或は御殿で舞ふ

てよろしいのであります又振型が我々がほんの

こしらへた遊戯の振のやうものではなく振型に

權威があるのでありますから幼兒が下手に舞ふ

てもこれを他のものが笑つたり批評をしたりは

しません、只可愛く上品に見てくれます、そう

した譯でお仕舞はよく家庭でします、そしてそ

れが一日の活動を了へて疲れて歸つて來たお父

さんを慰め一家の鬱氣を取り拭ふ原動になつて

居ります、これは各家庭の齊しく喜んで居られ

る點でございます、謠曲の入つて居る家庭では

尙更のことです。

私が或日或園児の家を訪問しました。するとどうしたものが非常な歡待で驚きました、何かお取次の間違でないかと思ふた程でありました、お祖母様の案内で立派な客間へ請じられました。さて先生何からお禮を申し上げてよいやら……ア、千代子や一寸これへゐらつしやい……といふ聲にしづくくとそれへ出てこられたのは、まだ花はぶかしの盛装の花嫁御寮——懇懃に挨拶をされます、私はハテと首をかしげましたが御嫁さんまで御紹介とは益々不可解やうやつこのことでも目出度うございますの一言が辛くも出ました。お祖母さまが先生これは幼い時に御厄介になりました杉山千代子でございます、此の度次男の嫁に貰ひました、現在のよし子がお世話になつて居りまする幼稚園を嫁も卒業致しましたといふのはまあ不思議な御縁でございます先生私から嫁の自慢を申し上げるのは變なもの

でございますが……「三子の魂百までも」とはよく言ひました、丁度千代子の幼い時の御丹精が何かにつけて今日に見えるやうでございます、それに宅ではお蔭様で每晚よし子がお仕舞をします、丁度お祖父さまも私も又よし子の父も家中でも謠が下手の横好、皆で地を謠ひます、幸に觀世流でございますから、どうにか間に合ひます時には「お祖父さんのお謠はのろくて下手」なんてよし子に叱られることがありますアハハハ。あの無邪氣に優しくも尊く舞ふ姿何とも言ひやうのない味でございます、こうしてよしこのお仕舞のお蔭で家内中でよい樂が出来ますそして先生千代子はお仕舞が出来ますからよし子と一しよに舞つたりなほしてくれたり教へてくれたりします、本當によい嫁を貰ひました、これだけでも皆に大切がられ可愛がられて實に肩身が廣うございます、先生其の嫁を搜したの

は私でございます、私まで鼻が高うございますと自然にお祖母さまの頭が下りました、言ひ合はしたやうに千代子さんの頭も下りました、思はず私の頭も下つて少時緊張した全く劇的シーンを現出しました。

一、表情の深味

顔の色形を變へて喜怒哀樂の情を表出するのは未だ浅い表情で言はゞおあいそ表情であります而してこれも必要ではあるが此の表情も度を過ぎたならば他人を侮擯し自己の人格を低下せしむることになります、抑も他に眞の感動を與へ又自己を宇宙と和合一體ならしめんとするには深い表情即ち靜の表情でなければならぬのであります、表情に深味が出来るだけそれだけ人格は向上するのであります、芝居を見ても奴雜兵下役の表情は浅い表情であります、實に顔の運動神經は忙殺される程顔の形が變つて行きま

す……が立役主役になると俳優の人格も異つて居りますが自然表情に深味を持つて奥床しくございます、又能樂に於てシテ方は大概面をつけて居ります、面は檜でうつたもので形は何時如何なる場合にも同じで少しも變ることはありません即ち靜であります、然るに名人と言はるるシテ方これをつけて演じますると不思議にも其の場合〳〵の情といふものは木彫面を貫して外へ浮出て來るものであります、實に桐の面箱に納まつて居つたときの面とは違ふのではないかと疑はれる程凄く見える場合があります、けれども決して面がちがつたものではありません、全く表情の深味に入つて居るのであります、即ち靜の表情であります、こうなると表情は形から超越して靈其物に歸するのであります。

幼児ながらも仕舞が少し舞へるやうになりますと自然に表情が此の味になつて來ます、自由活

動の間にも然りであります。

一、仕舞と健康

仕舞は姿勢は良くなり行儀はよくなり落着は出来越味は高尚に舉止動作は上品に堅實になるといふことにはもう議論を抑むの餘地がないのでございます。

一、幼兒の仕舞から母親の健康へ

謠曲仕舞を保健の第一とせられて居る方は世間多々あります、私の幼稚園の敏子さんのお母様は敏子さんを産んでから産後の肥立がわるくそれからといふものは病氣になつて一寸何處かへ行くにも必ず藥瓶を持つて歩く、長い月日笑顔一つ浮べたこともないといふ有様でありましたそれが敏子さんがお家でお仕舞をなさる、それを見るのがお母さんの何よりの樂でありました其の中にお母さまも聞覚えて地を謠つてあげる敏子さんとしよに舞つて見るといふ状態であ

りました、と不思議なやうに頭は軽くなり胸はすき體の調子が大變よいといふ具合であります、お母さんそれに味をしめて、もう一日もお仕舞を止めることは出来なくなり體の具合もずん／＼よい日がつゞいてお母さんの笑顔さへ外へ漏れるやうになりました。今では熱心な謠曲家になりお上手になりました。共に／＼お喜び申し上げて居る次第でございます。

因に私の幼稚園では仕舞を仕込む教へ込むといふやり方ではありません。只毎日面白う優しう舞ふて遊ばせて居るので長い間に自然に型がつくのでございます、尙女兒は仕舞男兒は地謠をやつて居ります。

尙仕舞はむつかしい、第一先生が謠曲からして稽古してかゝらねばならぬとお考の方がありませんが、私は多年の研究で此の點は解決してあります。即ち幼女の仕舞化してあります。これによれば地謠として却つて童謠よりは謠ひ易い位で型も五六の基本さへ腹に入れば遊戯よりは易いのであります。